

本当に若い娘 (1976)

UNE VRAIE JEUNE FILLE
A REAL YOUNG GIRL [米]

メディア 映画

ジャンル 青春 エロティック ロマン스

製作国 フランス

色彩 Color

時間 93分

初公開日 2001/11/24

公開情報 プレノン・アッシュ

映倫 R-18

【キャッチコピー】

アリス、14歳。
オトナになる前の、密やかな夏。

【解説】

「ロマンスX」のカトリーヌ・ブレイヤ監督が1976年に自身の小説を映画化した監督デビュー作。少女から大人へと成長する過程で、恋愛に憧れ、セックスに強い興味を抱きながらも自らの複雑な感情を持って余す思春期の少女のひと夏を描く。プロデューサーとの対立や倫理基準の問題からポルノ映画とされ25年の間日の目を見ることのなかった作品。「ロマンスX」のヒットにより晴れて一般公開の運びとなった。

寄宿学校の夏休み。14歳の多感な少女アリスは両親の待つ田舎の実家に帰省した。パパとママとの久々の再会も、今のアリスにはどこか気まずく窮屈なものでしかなかった。鏡を見ればふっくらとした豊かな胸がそこにはあった。町へ出れば男たちは大人びた自分の体に好奇の目を向けてくる。心と体の変化に戸惑うアリス。そんなある日、アリスは父の製材所で働くジムと出会い、その逞しく魅惑的な青年に惹かれていく。ジムを物陰から見つめ、彼と恋人とのキスを盗み見ては言いようのないいらだちを覚える。アリスの感情は次第に抑えようのないものとなっていき……。

【クレジット】

監督	カトリーヌ・ブレイヤ	Catherine Breillat	
製作	ピエール・リシャル・ミラー	Pierre Richard Muller	
原作	カトリーヌ・ブレイヤ	Catherine Breillat	
脚本	カトリーヌ・ブレイヤ	Catherine Breillat	
撮影	ピエール・ファットリ	Pierre Fattori	
美術	カトリーヌ・ブレイヤ	Catherine Breillat	
編集	アニー・シャリエ		
音楽	モート・シューマン	Mort Shuman	
録音	ベルナール・マンギエール		
出演	シャルロット・アレクサンドラ	Charlotte Alexandra	アリス
	ハイラム・ケラー	Hiram Keller	ジム
	ブルーノ・バルプ	Bruno Balp	父親
	リタ・メイデン	Rita Maiden	母親
	シャーリー・ストーラー	Shirley Stoler	食料品店主